

# 太宰府中学校 1 学年だより No.22

R 2.10.23 (金)

文責：石橋 眞子

## 秋の雑感～朝の昇降口で思うこと～



先日、出勤前に何気なくテレビを見ていたら、横断歩道でのマナーについての話題が 있었습니다。それによると、長野県は信号機のない横断歩道で歩行者がいる場合、車の一時停止する割合が全国1位なのだそうです。

しかも、2位の静岡にも大差をつけ、なおかつ4年連続だそうです。

どうしてこのようなよい習慣が身についているのか、運転する側の立場から興味をもって聞いていました。



すると、長野県では、横断する人が止まった車に、「手を挙げる」「軽くお辞儀する」といったマナーを実践する習慣が根付いている(物事が定着する)のだそうです。

車が止まるのが当たり前でなく、歩行者は感謝の気持ちを伝えるのだそうです。

しかも、この習慣は、長野県民の親から子、子から孫へと脈々と続いているのだそうです。それが、ドライバーの止まる意識を高めているのかもしれない。

ここは11月行事です

一通り聞いて「すごいな・・・」と感心するとともに、学校のある場面がすぐ頭に浮かびました。それは、「朝の昇降口」です。

先月から、スクールサポーターの方に来ていただき、校舎の消毒をはじめ、様々な仕事をいただいています。毎朝、早い時間から昇降口に立っていただき、登校した皆さんの検温カードをチェックしていただいています。

サポーターの方はいつも丁寧に「おはよう」「どうだったね」と、一人一人に温かい言葉をかけてくださいます。一緒に昇降口に立っていると、そのときの生徒の様子がよくわかります。

黙ってカードを渡し、黙ってカードを受け取る生徒がいます。面倒そうな顔をして渡す生徒もいます。見ていて残念な気持ちになりますが、うかない姿を見て「何かあったのかな」と気になります。

反対に、重たい鞆を抱えながらも会釈してカードを渡す生徒もいます。優しい目と笑顔でカードを渡す生徒もいます。さらに素敵なのは、「ありがとうございます」とお礼を伝える生徒もいることです。見ていて朝から気持ちがよくなります。

このような「感謝」と「お互い様」の気持ちを伝え合う雰囲気が、長野県のように根付くと、学級や学年は今よりもっと居心地のよい素敵な場所になるのでは・・・と感じました。

そういえば、最近、生徒の皆さんからの「おはようございます」「こんにちは」さらには「〇〇先生 こんにちは」の声までが増えてきたように思えるのは、私だけでしょか。